

Eduvolution

令和7年度千葉県教育庁教育振興部
学習指導課ICT教育推進室発行

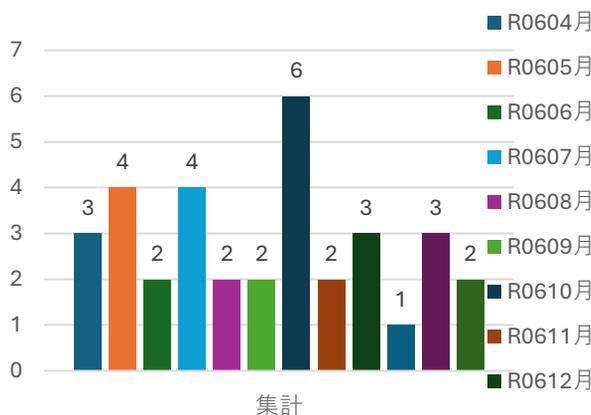
教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語
「ICT」を効果的に活用することで、
教育の次なるステップを目指しましょう。



※県教育委員会ホームページのICT教育のバナーにアクセスしてください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/giga/jouhoukeikaku.html>

各学校において教育情報セキュリティポリシーは策定・更新していますか？

昨年度は**個人情報に係るインシデントの発生が1年間で34件発生**しました。月別で見ると4～7月の1学期が多いことがわかります。また、前期と後期の切れ目となる10月も多くなっています。4月当初の職員会議等で各学校において策定されている教育情報セキュリティポリシーの確認を行ったかと思いますが、改訂に伴う更新はされているでしょうか？令和7年3月には文部科学省より情報セキュリティポリシーに関するガイドラインの改訂も施行されました。



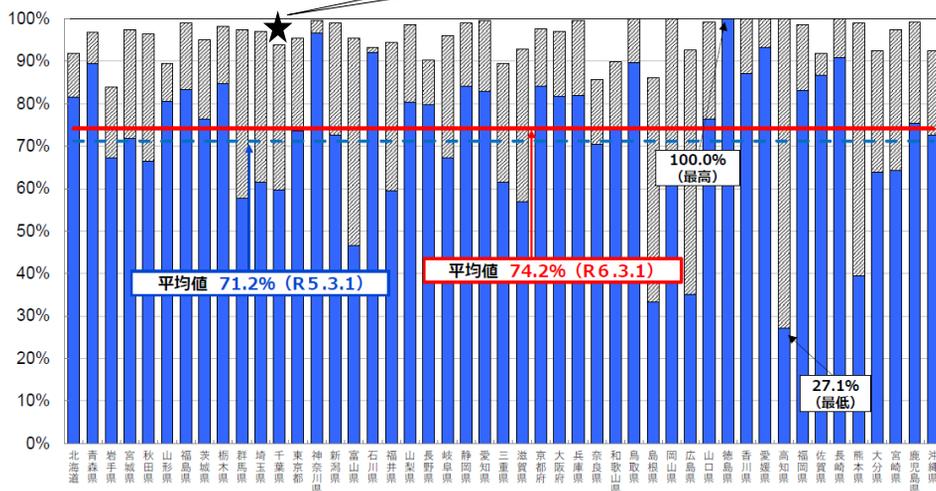
毎年実施している「学校における教育の情報化等の実態調査」において**全国の学校向け教育情報セキュリティポリシーの策定率は74.2% (R5調査)**となっています。千葉県においては**59.8% (R5調査)**となっており、**15%ほど低い**値になっています。下記のグラフに示すとおり自治体が定めている情報セキュリティポリシーで代用している自治体を含めても100%になっていないのが現状です。

GIGAスクール構想において1人1台端末が当たり前になり、校務においても電子情報を扱う、現在の学校環境はセキュリティリスクも多く存在します。学校が定める教育情報セキュリティポリシーの策定は急務です。

教育情報セキュリティポリシーの策定率

千葉県は全国平均より約15%低い

【前年度 (平均: 71.2%、最高: 100.0%、最低: 31.2%)】



出典：「令和5年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果 (概要) 令和6年10月文部科学省」

■ 「学校向けの情報セキュリティポリシーを策定している」と回答した学校
 □ 「自治体の情報セキュリティポリシーを準用している」と回答した学校

情報セキュリティポリシーのガイドライン改訂の要点（文部科学省）

主な改訂内容

・情報資産の分類・仕分け・管理方法の見直し

⇒教育委員会等や学校で情報資産をより客観的で適切に分類できるよう、アクセスする主体に基づく内容に見直し。児童生徒やその保護者が重要性分類以上の情報資産にアクセスする際の安全管理措置（IDやパスワード管理等）を加筆。

・次世代校務 DX 環境への移行を進める上で必要となるセキュリティ対策に関する記載の見直し

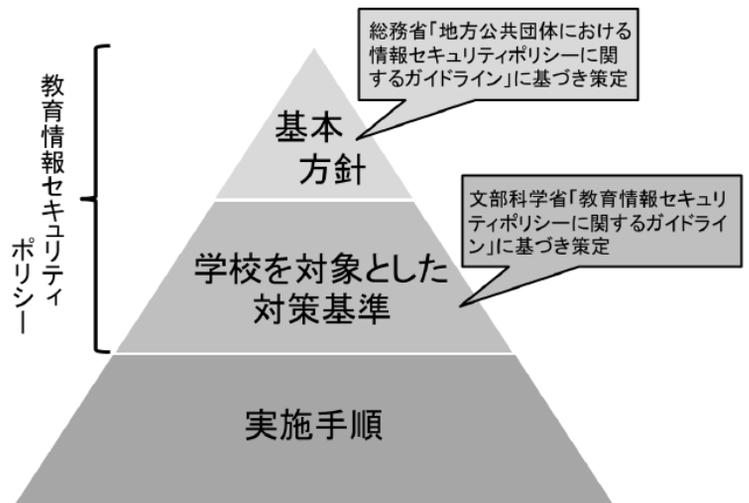
⇒次世代校務 DX 環境への移行期間（オンプレミス環境とクラウド環境が共存する期間）は、それぞれの環境に応じた適切なセキュリティ対策を講じなければならないという考え方を加筆。強固なアクセス制御に基づくセキュリティ対策を講じる際には多要素認証による本人認証が望ましいものの、教育現場の実態や特徴を踏まえ、端末の電子証明書等を用いた端末認証と知識認証・生体認証のいずれかを組み合わせて認証を行うことも考えられる旨を記載。

令和7年3月の改訂は、GIGA スクール構想の進展により教育現場のクラウド活用が進んでいること等を踏まえ、**情報資産の分類・仕分け・管理方法の見直し** 及び **次世代校務 DX 環境への移行を進める上で必要となるセキュリティ対策に関する記載の見直し** を主な目的として実施。

なぜ教育情報セキュリティポリシー策定が必要なのか？

右図に示すように教育情報セキュリティポリシーは**自治体が定める情報セキュリティポリシーをさらに学校などの教育現場の特殊性に対応した教育情報セキュリティポリシーにアップデート**する必要があります。特に現在のデジタル化された社会では日々進化しています。1年たつとまるで世界が変わってしまうかのような、スピードですのでそれに対応した

教育情報セキュリティポリシーの策定・見直しが早急に必要です。教育情報セキュリティポリシーがまだ策定されていない4割の自治体はもちろんです。策定されている自治体においても順次見直し・改訂を進める必要があります。



図表1 地方公共団体における教育情報セキュリティポリシーに関する体系図

出典：

教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン
文部科学省（令和7年3月）